2/10 朝夕

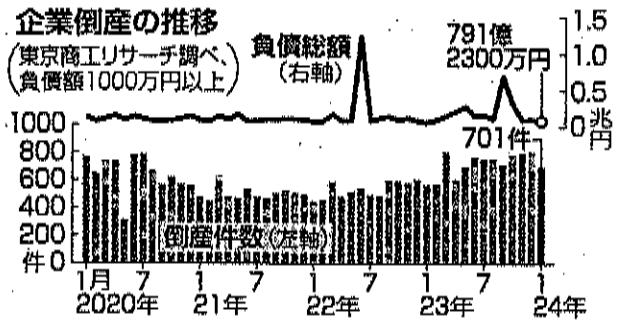
企業倒産 1月700件超

物価高影響

4年ぶり

東京商工リサーチが8日発表した1月の全国企業倒産件数（負債額1000万円以上）は前年同月比22・9％増の701件でした。1月に700件を超すのは4年ぶりで、件数の増加は22カ月連続。原材料価格の上昇を取引価格に転嫁できずに行き詰まる「物価高」倒産が増えています。

負債総額は39・9％増の791億2300万円でした。

全体の倒産件数のうち、物価高倒産は47件と前年同月の42件を上回りました。価格転嫁が難しく、下請け色が濃い運送業や建設業、食品関連業などで倒産が目立つといいます。原材料価格を押し上げる円安・ドル高が続く中、物価高倒産は月間40件を上回るハイペースが2022年12月から続いています。

今年4月には、新型コロナウイルス対策で実施された実質無利子・無担保の「ゼロゼロ融資」の返済が最後のピークを迎えます。このため、商工リサーチは「手元資金が減る企業の倒産は増えてくる」とみています。